取扱説明書

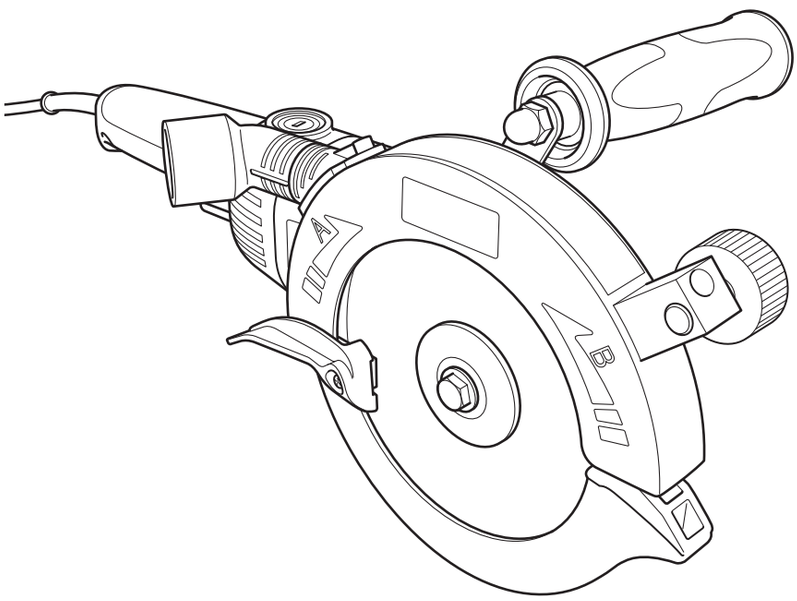
平成26年7月発行(1)

このたびは「デュアルソー デストロイヤー CS650」を
お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
・本製品はこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
・ご使用の前に必ず「安全にお使いいただくために」をお読みください。
・取扱説明書および保証書は大切に保管し、必要なときにご利用ください。

DUALSAW®

デュアルソー デストロイヤー CS650

取扱説明書



安全にお使いいただくために 2
正しくお使いいただくために 10
はじめに 11
もくじ 11
各部の名称と働き〈一覧・名称〉 12
ご使用前の準備 14
ご使用方法 23
お手入れ方法 27
仕様 30
こんなときには(トラブルと対処方法) 31
Q&A 32
関連商品 34
保守とアフターサービス 39

二重絶縁

このマークは、製品が二重絶縁構造になっていることを示しています。
したがって本製品はアース(接地)する必要はありません。

Brought to you by Shop Japan®

安全にお使いいただくために

ご使用になるお客様や他の人への危害や財産の損害を防ぎ、安全にお使いいただくために重要な内容を記載しています。
次の内容をよく理解してから本文をお読みいただき、必ず記載事項をお守りください。
また、この取扱説明書に記載のない目的や方法では絶対に使用しないでください。

重要事項

- 本取扱説明書の使用ガイドライン、および指示が守られない場合は、当社は一切の責任を負いかねます。
- お客様の不注意による破損、故障、ケガ、事故、火災に関して、製造者・販売者は一切責任を負いません。
- この取扱説明書に記載のない目的、方法では絶対にご使用にならないでください。ケガや事故の原因となります。

⚠ 危険	「死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される」内容
⚠ 警告	「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容
⚠ 注意	「人が傷害を負う可能性および物的損害が想定される」内容

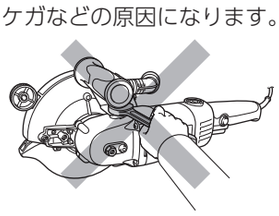
■お守りいただく内容を次の絵表示で区分しています。（下記は絵表示の一例です。）

禁止	してはいけない内容です。
指示	実行しなければならない内容です。

ご使用前の注意

⚠ 警告

禁止	**本製品は包丁同様に刃物ですので、お子様など取り扱いに不慣れな方だけでの使用、乳幼児の手の届くところやペットのそばでの使用はしない。** ケガの原因になります。
	高温の場所や火気近くでは使用しない。 変形、破損により事故の原因になります。
	作業場および作業台には作業に不必要なものを置かない。 作業中に巻き込んで事故の原因になります。
	ガソリン、シンナー、接着剤、塗料等の可燃性の液体やガスのあるところでは作業しない。 爆発や火災の恐れがあります。
	紙類や布類等、燃えやすい物の近くで作業しない。 火災の恐れがあります。

分解禁止	**お客様自身による分解、改造、修理は絶対にしない。** 火災、ケガなどの原因になります。 
水ぬれ禁止 感電注意	**本製品を水につけたり、ぬらさない。** 感電、故障、ケガの原因になります。

指示

使用前に必ず点検をする。
破損、割れ、亀裂、不具合などがある場合は直ちに使用を中止し、裏表紙のカスタマーサービスセンターに修理をご依頼ください。そのままご使用を続けると感電、火災、ケガの原因になります。

作業場は十分に明るくする。
暗い場所での作業は事故の原因になります。

作業場は清潔に保つ。
油汚れで滑りやすかったり、ゴミやホコリ等が蓄積していると、事故の原因になります。

髪の長い人は、帽子やヘアカバーなどで髪を覆って作業する。
髪を巻き込まれてケガをする恐れがあります。

保護メガネを着用して作業する。
失明する恐れがあります。

防じんマスクを着用して作業する。
粉じんを吸入すると、健康を害する原因になります。

シリカや石綿を含んだ材料を切断する場合、集じん機などを使って飛散防止対策を施す。
粉じんを吸入すると、健康を害する原因になります。

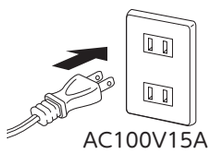
指示

防音保護具(耳栓または耳覆い／イヤーマフ等)を着用して作業する。
切断音が大きな作業では、聴覚に支障をきたす恐れがあります。

騒音防止規制について
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。
必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

安全靴を着用して作業する。
切断直後に勢いで足をケガをする恐れがあります。

AC100V 50/60Hz以外の電圧では使用しない。
指定より高い電圧では回転が高速になり、事故やケガの原因になります。



電源コンセントは定格15A以上で、単独で使用する。
発熱して火災の原因になります。

延長コードを使用する場合、定格15A以上で、キャブタイヤコード(ケーブル)を単独で使用する。
発熱して火災の原因になります。

あらかじめ切断する材料が切断可能かどうか、および切断可能な厚さかを確認する。
反発や思わぬ動作により、ケガをする恐れがあります。
切断できる材料・厚さ：24ページ参照

切断する材料の下に障害物が無いか確認する。
強い反発により、ケガをする恐れがあります。

ご使用前の注意

⚠ 注意

禁止

取扱説明書で指示されている部品、当社が販売している付属品・別売品以外は使用しない。
故障やケガの原因になります。

指示

作業に適した服装で使用する。
サイズが合っていない衣服やネックレスなどの装身具は、本製品に巻き込まれる恐れがあり、事故やケガの原因になります。

金属を切断する場合、作業服または作業用エプロンを着用する。
火花により、衣服が焼損する恐れがあります。

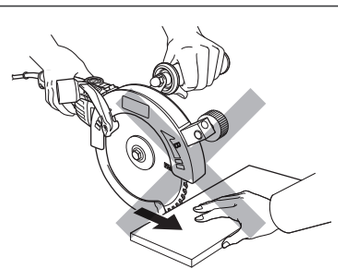
ご使用上の注意

⚠ 危険

禁止

ブレードに手や顔、身体の一部を近づけない。
重大な事故やケガをする恐れがあります。

ブレードを人に向けない。
重大な事故やケガの原因になります。



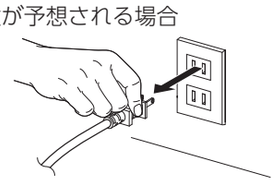
ご使用上の注意

⚠ 警告

プラグを抜く

下記のような場合は、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、裏表紙のカスタマーサービスセンターに修理を依頼する。
そのままご使用を続けると、感電、火災、ヤケド、ケガ、故障の原因となります。
- 異常を感じた場合
- 使用中にこげくさいにおいや煙が出た場合
- 使用中に電源コードの一部が熱くなった場合
- 水などの液体が入った場合
- 電源コードに触れたり折り曲げたりすると電気が入ったり切れたりする場合
- 電源コードの被覆が破損した場合
- 電源プラグの金属部分が変形したり、著しく変色したりした場合
- 部品に破損や割れ、亀裂、不具合、水ぬれがある、または部品を紛失した場合
- 電源コードが洗剤や殺虫剤に浸った場合
- 使用中に本体が熱くなったり、異常音がしたり、ブレードの回転にムラが生じた場合
- 誤って落としたり、ぶつけたりして、ブレードや本体などに破損や亀裂、変形など異常があった場合

次のような場合、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
電源が入ったままでは事故の原因になります。
- 使用しない場合
- 修理をする場合
- ブレードを交換する場合
- お手入れをする場合
- 危険が予想される場合



指示

安全ガードがスムーズに動かなかったり、手を離しても速やかに元に戻らない場合は、ただちに使用をやめて、カスタマーサービスセンターに修理を依頼する。
そのまま使用すると、事故やケガの原因になります。

こまめに休憩を取る。
長時間の連続作業は、知らないうちに体力と集中力が低下し、事故やケガの原因になります。

スイッチを入れる前に、ブレードの交換やお手入れに使ったブレードレンチなどの工具類が取り外してあることを確認する。
事故やケガの原因になります。

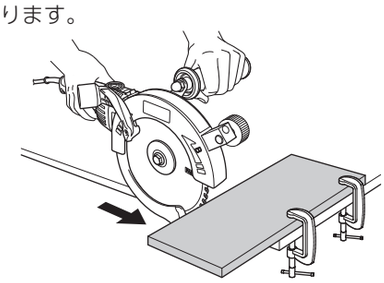
電源プラグは根元まで確実に差し込む。
不完全な差し込みのままご使用を続けると、感電や火災の原因になります。

使用中は、作業や周囲に集中して注意する。
他の事に気を取られると事故の原因になります。

ブレードは、指定のブレードを使用する。
指定以外のブレードを使用すると事故やケガの原因になります。

切断・加工する材料は、安定性のよい台に置いて作業する。
台が不安定だと、ケガの原因になります。

切断・加工する材料をクランプや万力でしっかりと固定する。
手や足で保持するとケガをする恐れがあります。



使用中は、本体を両手で確実に保持する。
確実に保持していないと、本体が振れ、ケガの原因になります。

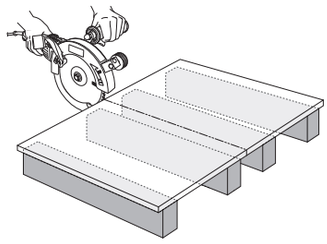
ご使用上の注意

⚠ 警告

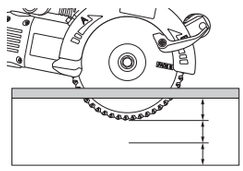
指示

切落とし寸前や切断途中に、材料の重みでブレードがはさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設ける。
ブレードがはさみつけられると、ケガの原因になります。

材料の切落とし側が大きいときは、切落とし側にも安定性のよい台を設ける。
ケガの原因になります。



切落とした木片がブレードと接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは少なくとも、ブレードの出代の３倍以上にする。
ケガの原因になります。



切断途中で本体を戻そうとする場合、その位置でスイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにして戻す。
ブレードが回転させたまま戻そうとすると強い反発力が生じ、ケガをする恐れがあります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、電源が入った状態で本体を触らない。
感電の原因になります。

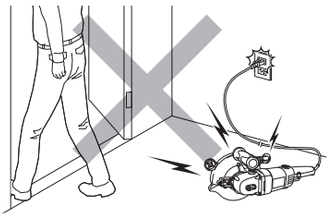
禁止

本体、電源プラグおよび電源コードに水や液体をかけたり、浸したりしない。
感電・火災の原因になります。本体内部まで水でぬれた場合は、裏表紙のカスタマーサービスセンターにご相談ください。

傷んだ電源プラグや、差し込みのゆるいコンセントを使用しない。
感電や発熱による火災の原因になります。

コンセントは本製品単独で使用し、他の機器の電源プラグを差し込まない。
発熱、発火の恐れがあります。

電源プラグをコンセントにさしたまま本製品から離れない。
事故やケガの原因になります。



スイッチ類に指をかけたまま移動したり、運んだりしない。
事故やケガの原因になります。

スイッチ類をON状態で固定しない。
事故やケガの原因になります。

ブレードの回転中はブレードロックボタンを押さない。
本体の破損やケガの原因になります。

使用中にアース（接地）されているものに身体を接触させない。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外郭）
感電する恐れがあります。

切断時および作動点検時以外は始動させない。
事故の原因になります。

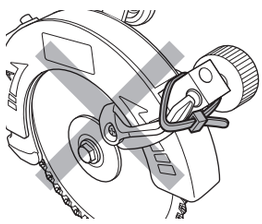
禁止

切断中に本製品を左右にねじったり、強く押しすぎたりしない。
事故やケガの原因になります。

切断中に切断方向を無理に変えない。
モーターに負荷がかかり、発煙や故障の原因になります。

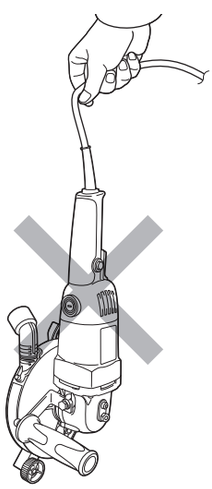
無理な姿勢、不安定な姿勢で作業しない。
ケガをする恐れがあります。

安全ガードを外したり、開いたまま固定したりしない。
事故やケガの原因になります。



疲れていたり、体調がすぐれないとき、薬物やアルコールの影響があるときは使用しない。
注意力が散漫になり、事故の原因になります。

電源コードを持って本体を運ばない。
電源コードが破損し、感電・火災・ケガの原因になります。



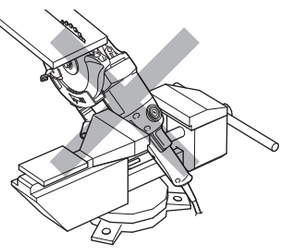
禁止

電源コードを足に引っ掛けたり、無理に引っ張ったりしない。
感電、火災、故障の原因になります。

スイッチに指をかけたまま移動したり、運ばない。
事故やケガの原因になります。

スイッチをONにしたまま、電源プラグをコンセントに差し込まない。
事故やケガの原因になります。

本体を万力や金具などで固定して使用しない。
事故やケガの原因になります。



ご使用上の注意

⚠ 注意

指示

電源コードは、以下の点に注意する。
感電、火災、故障、ヤケドの原因となります。
- 使用中は束ねない
- ドアや家具などで挟まない
- 畳や敷物の下に入れない
- 重いものを載せない
- テーブルやカウンターの端などに引っ掛けない
- 引っ張らない
- ねじらない
- もつれさせない
- 傷つけない
- 加工しない
- 無理に曲げない
- 鋭利なものに近づけない
- 熱器具や火気など熱いものに近づけない
- ぬらさない
- 人や運搬車などが激しく行き来する場所で使用しない
- 本体に巻き付けない

電源コードに余裕を十分にもたせた状態で使用する。
電源コードを引っ張ると電源コードの断線や電源プラグの変形などの原因になります。
また、コンセントを傷める原因になります。

切断前に、人のいない方向にノコ刃を向けて空転させ、本体の振動やブレードの面振れなど異常のないことを確認する。
異常があるとケガの原因になります。

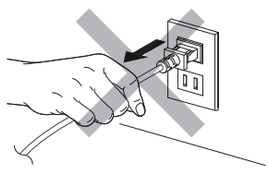
高所作業のときは、下に人がいないことを確認する。
材料や本製品を落としたときなど、事故の原因になります。

ブレードは2枚装着し、切り口に2枚とも当てて切断する。
片側1枚だけでは、切断中にキックバックが生じ、ケガをする恐れがあります。

回転するブレードで、電源コードを切断しないように注意する。
感電の恐れがあります。

禁止

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードをひっぱって抜かない。
必ず電源プラグを持って抜き差ししてください。電源コードや電源プラグの破損の原因になります。



本体やグリップに油やグリースを付着させない。また、付着した場合は、完全に取り除く。
本体が滑って保持できなくなり、事故やケガの原因になります。

損傷していたり、摩耗しているブレードは使用しない。
使用中にキックバックが生じ、ケガをする恐れがあります。

使用中は軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しない。
回転部に巻き込まれ、ケガをする恐れがあります。

切断しようとする材料の前方に手を置いたまま作業しない。
ケガの原因になります。

ブレードを回転させたまま、台や床などに放置しない。
ケガの原因になります。

ご使用後の注意

⚠ 警告

指示	**お子様やペット（動物）の手の届かない、カギのかかる安全な場所に保管する。** 事故の原因になります。
指示	**修理は、必ずお買い上げの販売店、または裏表紙のカスタマーサービスセンターに依頼する。** 修理の知識や技術のない方が修理すると、事故やケガの恐れがあります。

プラグを抜く	**使用しないときや保管するときは、電源プラグをコンセントから抜く。** 事故や感電、火災の原因になります。

⚠ 注意

禁止	**ブレードを交換する際、軍手を着用し、素手で刃の部分を触れない。** ケガをする恐れがあります。

指示	**使用後は、本書にしたがって点検および、お手入れをする。** 点検やお手入れを怠ると、製品の寿命が短くなるばかりでなく、事故の原因になります。
指示	**電源プラグは、定期的に乾いた布でホコリを拭き取る。** そのままご使用を続けると、火災の原因になります。
	本製品は清潔に保つ。 汚れは故障の原因になります。

正しくお使いいただくために

製品の廃棄に関して

● 廃棄の際は、廃棄する地域の行政・自治体の指示に従い、適切な方法で廃棄してください。

製品の保守・点検に関して

● 使用後は、電源プラグをコンセントから抜き、付着している切りくずなどを取り除いてください。
● お手入れの際は、乾いた布でやさしく汚れをふき取ってください。
汚れがひどい場合は中性洗剤を薄めたものを布に含ませて拭いてください。
● 業務用の場合は、定期的に点検することをおすすめします。

⚠注意	**お手入れには下記の溶剤や洗剤を使用しない。** 割れや破損により、感電、火災、事故の原因となります。 • ベンジン、シンナー • 液体洗剤、スプレー洗剤、アルコール入り洗剤、洗濯用洗剤、漂白剤 • 研磨剤、腐食剤、潤滑剤所 **本製品のお手入れでブレードに触れる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、運転が完全に止まっていることを確認する。** ケガや事故の原因になります。

アフターサービスに関して

● 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、
裏表紙のカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

はじめに

この度は「デュアルソー デストロイヤー CS650」をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
デュアルソー・シリーズ最高の切れ味を実現する「デュアルソー デストロイヤー CS650」。
前シリーズより、切れ込みがさらに深く、パワーもアップ！ より豪快な切れ味が可能になりました。
本格的なDIYや業務用など、幅広い用途にぜひご活用ください。

ご使用の前に、この取扱説明書（本書）の説明をよくご覧になり、必ず正しい方法で使用してください。

もくじ

安全にお使いいただくために …… 2
- ご使用前の注意 …… 2
- ご使用上の注意 …… 4
- ご使用後の注意 …… 9

正しくお使いいただくために …… 10
- 製品の廃棄に関して …… 10
- 製品の保守・点検に関して …… 10
- アフターサービスに関して …… 10

はじめに …… 11

もくじ …… 11

各部の名称と働き〈一覧・名称〉…… 12

ご使用前の準備 …… 14
- 作業する場所について …… 14
- 作業するときの服装・装備について …… 14
- グリップを取り付ける …… 15
- バキュームパイプを取り付ける …… 15
- ご使用前の点検 …… 16
  - 点検項目 …… 16
- ブレードの交換方法 …… 18
  - ブレードを取り外す …… 18
  - ブレードを取り付ける …… 20
- 潤滑スティックの取り付け方法 …… 22

ご使用方法 …… 23
- 集じん機を使用する場合 …… 23
- ブレード（標準装備）による切断方法 …… 24

お手入れ方法 …… 27
- 胴体・グリップ（樹脂部）のお手入れ …… 27
- ブレードのお手入れ …… 27
- カーボンブラシを点検・交換する …… 27
- 保管する …… 29

仕様 …… 30

こんなときには（トラブルと対処方法）…… 31

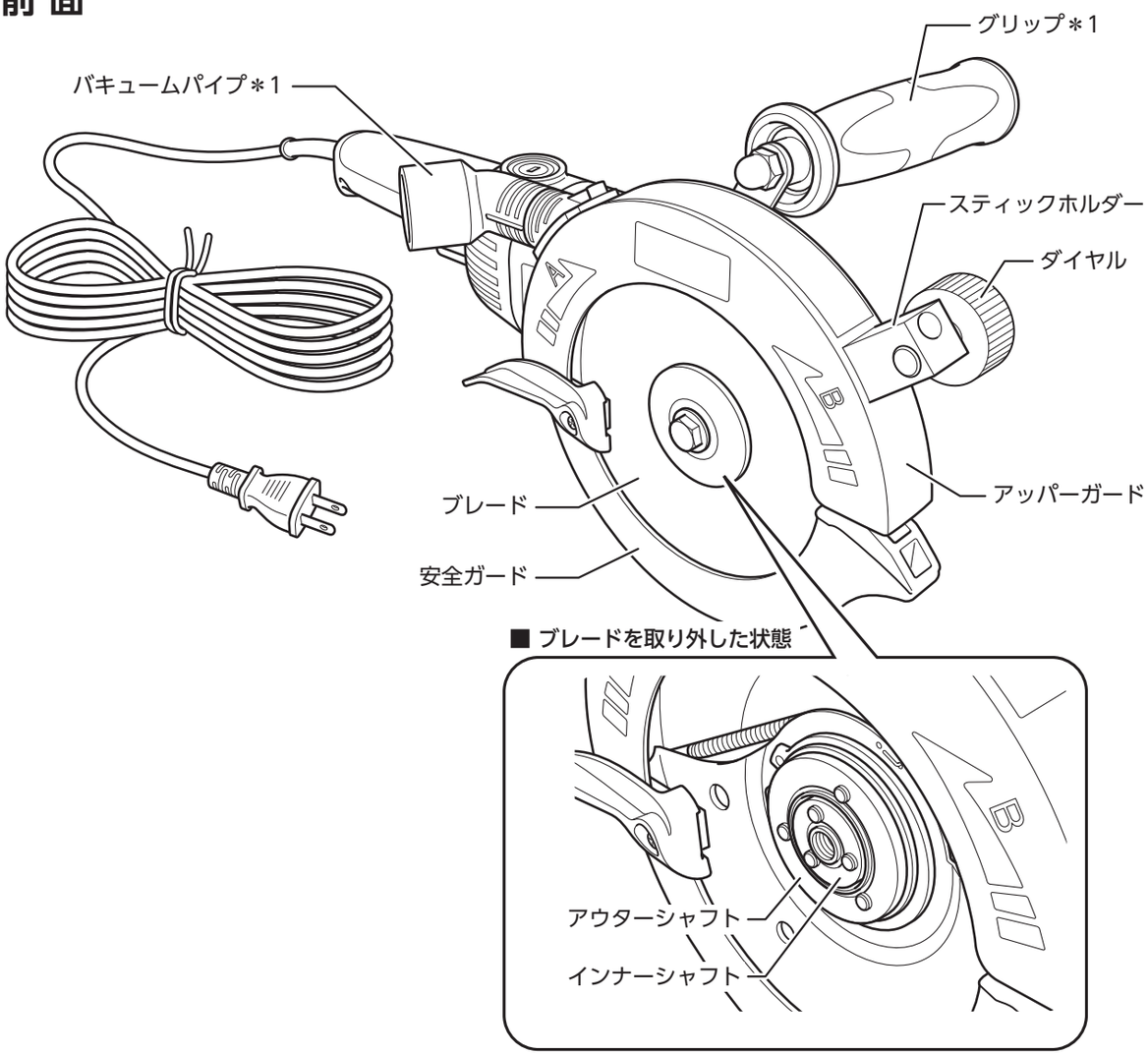
Q&A …… 32

関連商品 …… 34
- ガイドルーラーを取り付ける …… 36
- ダイヤモンドブレードによる切断方法 …… 38

保守とアフターサービス …… 39

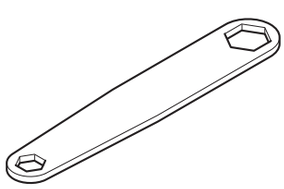
各部の名称と働き〈一覧・名称〉

前 面

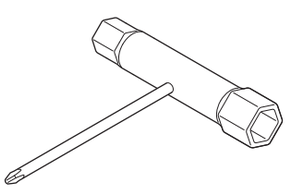


付属品（同梱）

グリップレンチ



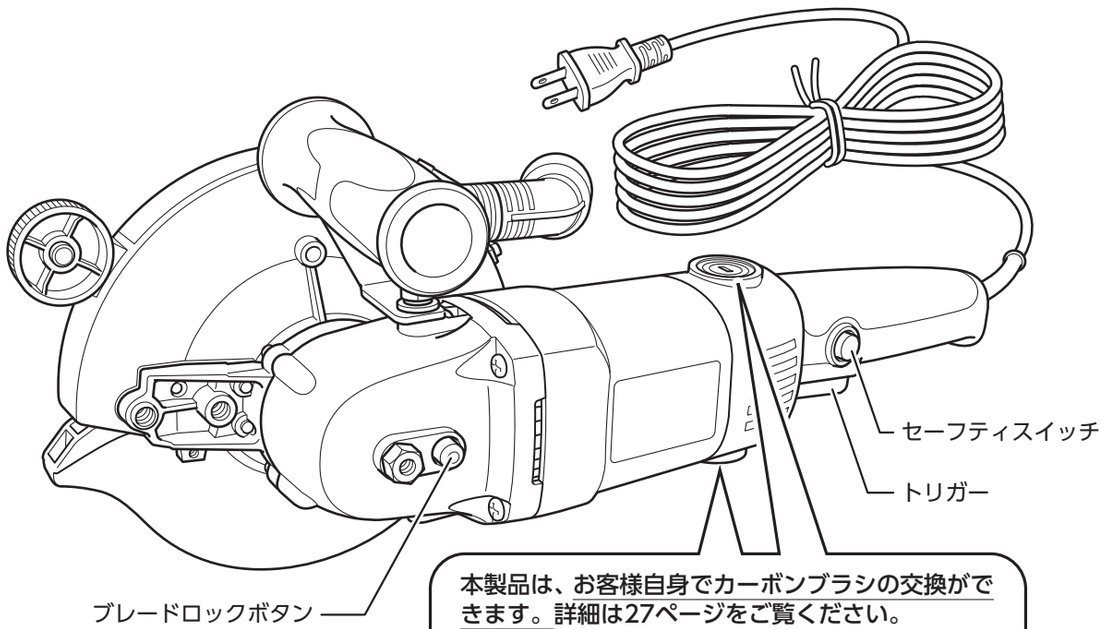
ブレードレンチ



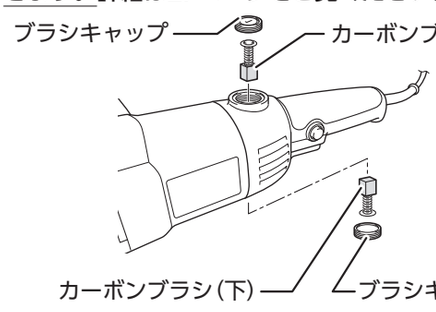
取扱説明書（本書）

潤滑スティック（10本）

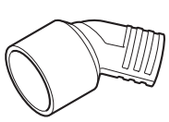
背 面



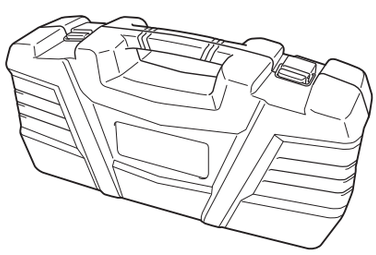
本製品は、お客様自身でカーボンブラシの交換ができます。詳細は27ページをご覧ください。



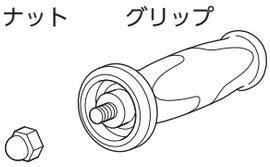
バキュームパイプ



ケース



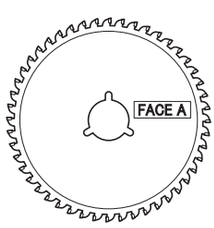
ナット　グリップ



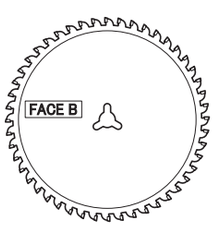
＊1：出荷時には取りつけられておりませんので取扱説明書(15ページ)をご参照の上、取り付けてください。

付属品(本体付属)

ブレードA



ブレードB



※ 本体に最初から取り付けられています。

ご使用前の準備

作業する場所について

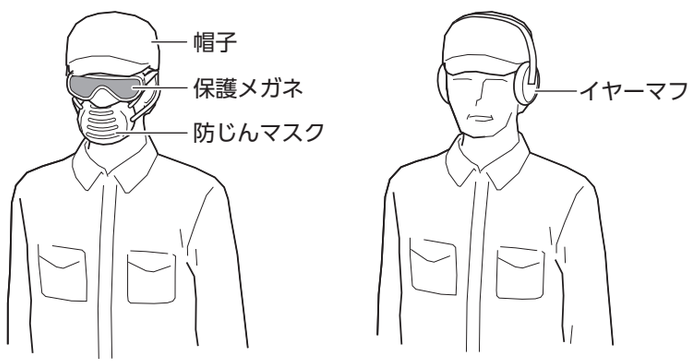
作業する場所は、以下の項目を守ってください。

- 作業場は、いつもきれいに保ち、作業に関係ない物を近くに置かないでください。
- 作業場は、十分に明るくしてください。
- 作業場は、雨に当たらない、乾燥した場所を選んでください。
- 近くに溶剤や塗料などの可燃性の液体やガスが無い場所を選んでください。
- 紙類や布類等、燃えやすい物の近くで作業しないでください。
- お子さまや作業に関係ない人、ペット（動物）が容易に入るような場所では作業しないでください。

作業するときの服装・装備について

作業するときの服装や装備は、以下の項目を守ってください。

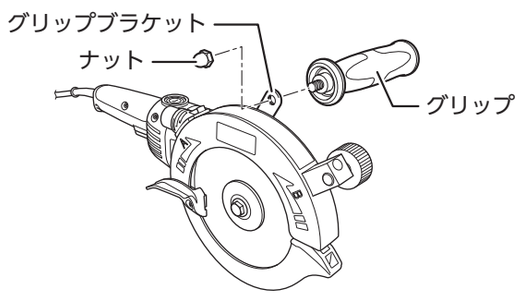
- 作業に適した動きやすく、体型に合った服装をしてください。
- 金属を切断する際、火花が飛び、衣服を焼損する恐れがあります。作業服または作業用エプロンを着用してください。
- ネックレスなどの装身具はつけないでください。
- 髪の長い方は帽子やヘアカバーを着用してください。
- 保護メガネを着用してください。
- 防じんマスクを着用してください。
- 防音保護具（耳栓または耳覆い／イヤーマフ等）を着用してください。
- 使用中は軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。



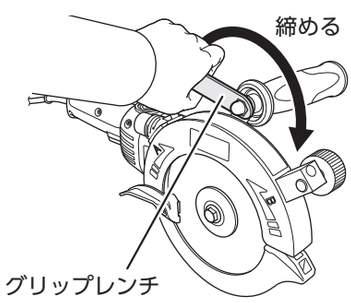
グリップを取り付ける

1 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認します。

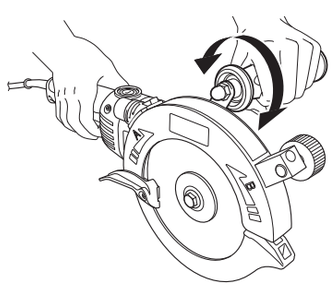
2 グリップを右図の向きに合わせて
グリップブラケットに取り付けます。



3 ナットをグリップレンチを使って確実に
締め付けます。

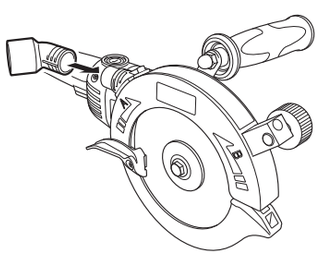


4 グリップを握って軽く揺らし、
しっかり固定されていることを確認します。



バキュームパイプを取り付ける

1 吸入口にバキュームパイプを差し込みます。



ご使用前の点検

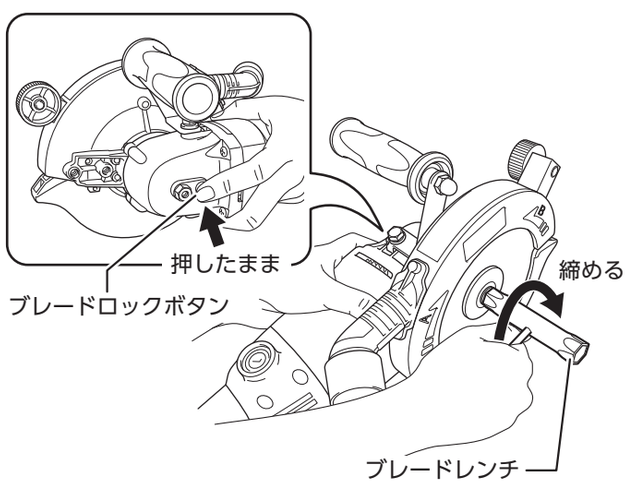
ご使用になる前に下記の点検を行ってください。異常があった場合は、ただちに使用を止め、裏表紙のカスタマーサービスセンターに修理を依頼してください。

⚠注意 **点検は、電源プラグをコンセントに差し込む前に行う。**

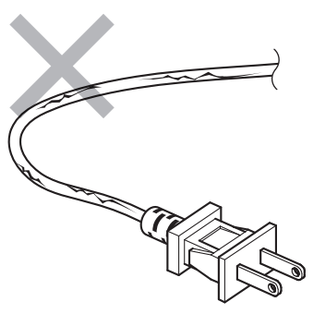
点検項目

☑ ブレードロックボタンでブレードをロックし、ブレードレンチを使って、ブレード中央のボルトがしっかり締まっている。

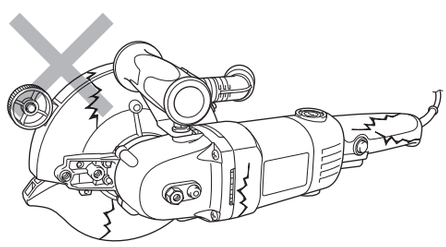
※ ブレードロックボタンの操作方法は、18ページを参照してください。



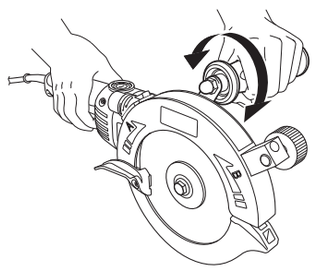
☑ 電源プラグ、電源コードに亀裂、割れ、キズがない。



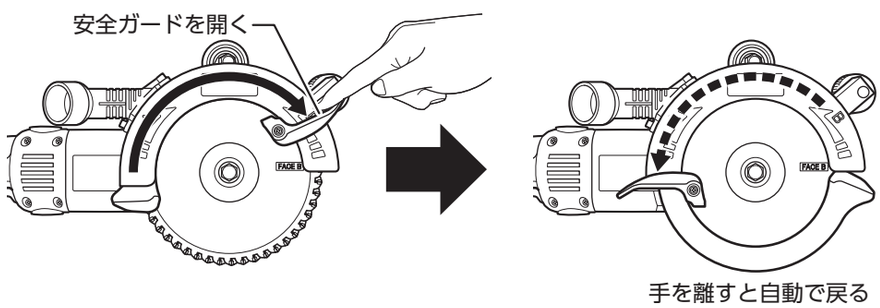
☑ 胴体に亀裂、割れ、キズがない。



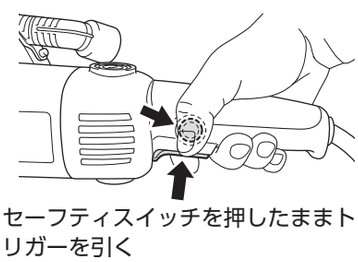
☑ グリップがしっかり取り付いている。



☑ 安全ガードがスムーズに動き、手を離すと自動で速やかに戻る。



☑ セーフティスイッチを押したまま、トリガーを引ける。



☑ トリガーとセーフティースイッチから指を離したら
それぞれが元の位置に戻る。

☑ セーフティスイッチを押さずにトリガーを引くと、
ロックされて引けない。

ブレードの交換方法

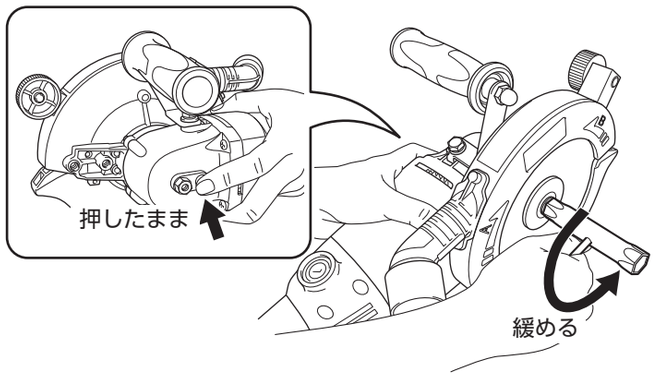
ブレードが摩耗したり、損傷して新品に替える場合や、
ダイヤモンドブレード(別売品)に交換する場合は、下記の手順で交換してください。

⚠注意	**ブレードを交換する際、軍手を着用し、素手で刃の部分に触れない。** ケガをする恐れがあります。

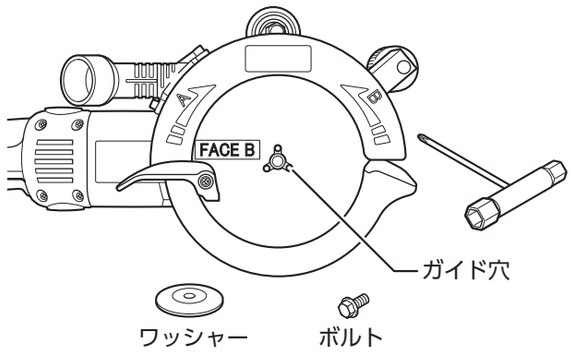
ブレードを取り外す

1 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認します。

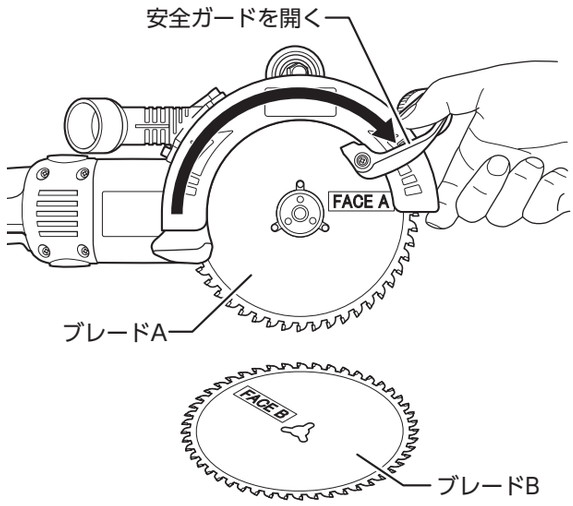
2 本体背面にあるブレードロックボタンを押し込んで
ブレードをロックしたまま、
ブレードレンチを使って
ボルトを緩めます。



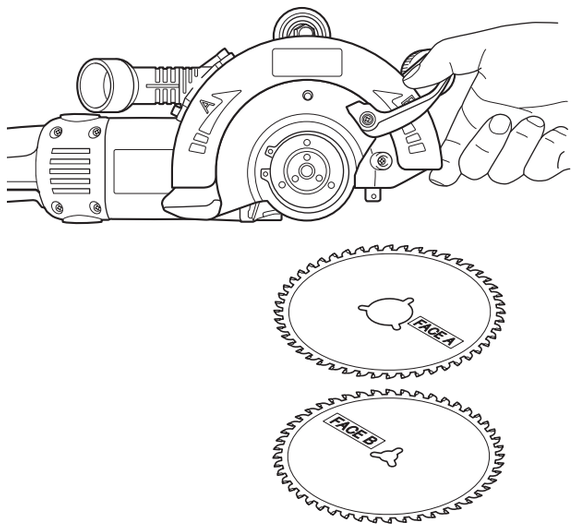
3 ボルトとワッシャーを外します。



4 安全ガードを開き、ブレードBを
インナーシャフトから外します。

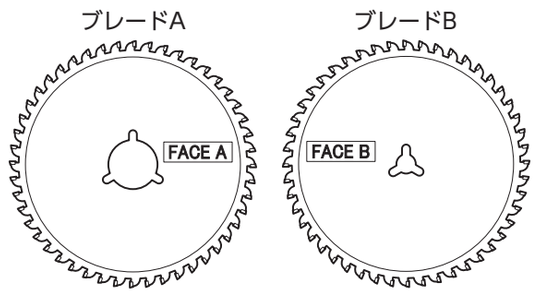


5 ブレードAを
アウターシャフトから外します。

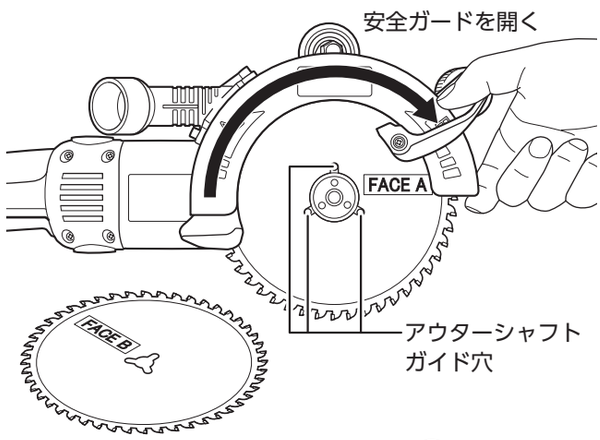


ブレードを取り付ける

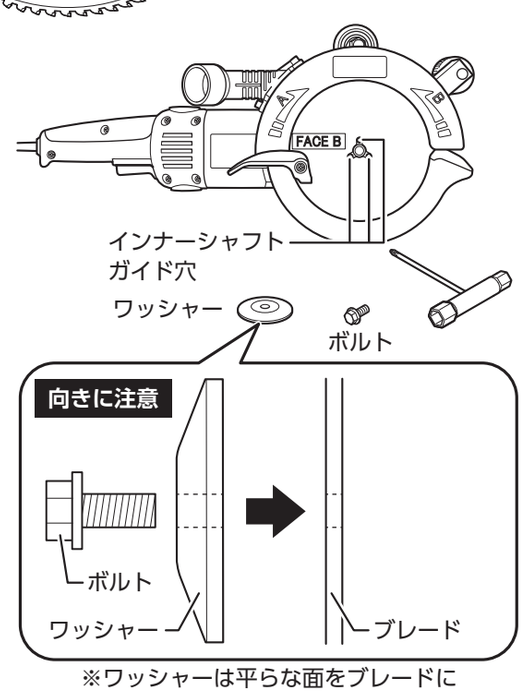
1 新しいブレード２枚を並べてAとBが
あることを確認します。



2 安全ガードを開き、アウターシャフトに
ブレードAの**印刷面を上にして**
取り付けます。
このとき、ブレードのガイド穴３個が
アウターシャフトのガイド３個に
はまっていることを確認します。

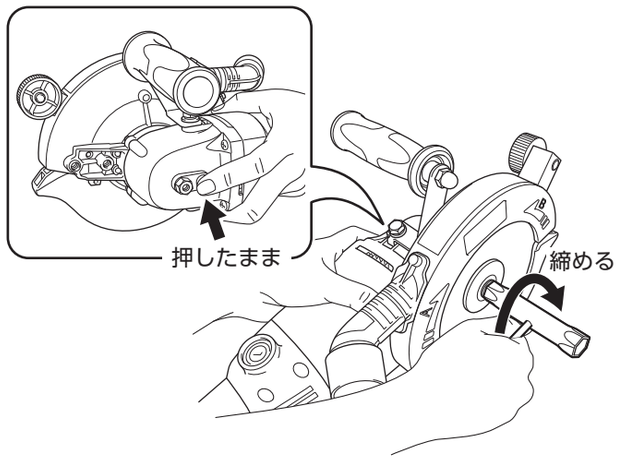


3 ブレードBの**印刷面を上にして**
インナーシャフトに取り付けます。
このとき、ブレードのガイド穴３個が
インナーシャフトのガイド３個に
はまっていることを確認します。
ブレードBを取り付けたら、
ワッシャーを付け、ボルトを
軽く手で締めてください。



※ワッシャーは平らな面をブレードに
向けて取り付けます。

4 本体背面にあるブレードロックボタンを
押し込んでブレードをロックしたまま、
ブレードレンチを使ってボルトを
しっかりと締め付けます。



5 ブレードレンチを外し、本体背面のブレードロックボタンが
解除されていることを確認します。

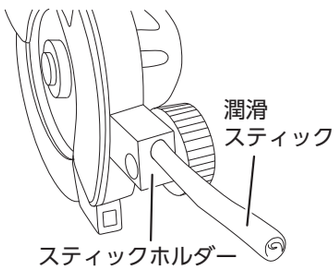
ブレードロックボタンが押し込まれたままで
解除されていない場合は、手で軽くブレードを回してください。
それでも解除されない場合は、
裏表紙のカスタマーサービスセンターへ修理を依頼してください。

潤滑スティックの取り付け方法

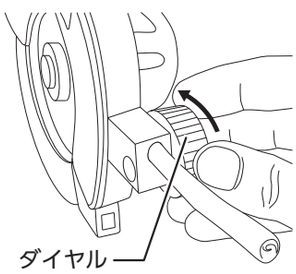
金属を切断する場合、潤滑スティックを使用してブレードと材料を保護します。

1 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認します。

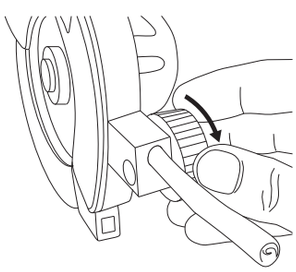
2 潤滑スティックをスティックホルダーに差し込みます。



3 ダイヤルを回して潤滑スティックが
ブレードに当たるまで進めます。
使用時は数回切断する毎に、ダイヤルを回して
潤滑スティックをブレードに当たるまで進めてください。



4 外すときは、ダイヤルを逆に回して、
潤滑スティックをスティックホルダーから引き抜きます。

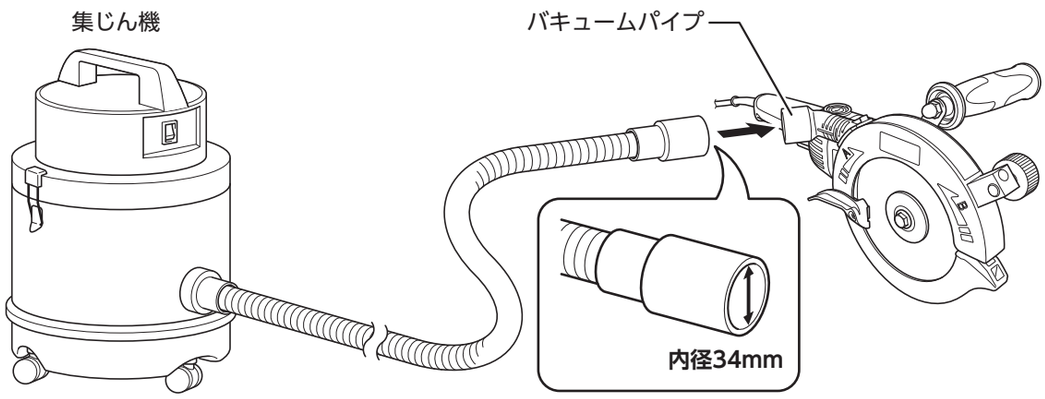


ご使用方法

集じん機を使用する場合

集じん機を使用する場合は、
本体のバキュームパイプに集じん機のホースを接続してください。

⚠注意	・ご使用前に集じん機の取扱説明書をよくお読みください。 集じん機によっては、ご使用方法や集じんできる切りくずなどが異なります。 ・集じん機を取り付ける際は、電源プラグをコンセントから抜く。



1 デュアルソーと集じん機の電源プラグがコンセントから外れていることを確認します。
差し込まれている場合、事故防止のために両方とも抜きます。

2 デュアルソーのバキュームパイプに集じん機のホースを差し込みます。
(内径34mmのホースを使用します)

3 デュアルソーと集じん機の電源スイッチがOFFであることを確認してから、
両方の電源プラグをコンセントに差し込みます。

4 集じん機の電源スイッチをONにして吸引が始まってから、
デュアルソーのセーフティスイッチとトリガーをONにして作業を始めます。

5 作業が終了したら、デュアルソーのセーフティスイッチとトリガーを
OFFにし、次に集じん機の電源スイッチをOFFにします。

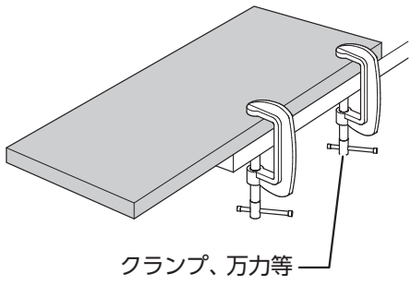
6 デュアルソーと集じん機の電源プラグをコンセントから抜きます。

ブレード（標準装備）による切断方法

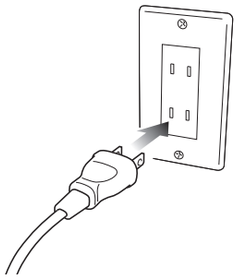
⚠ 警告 2〜9ページの「安全にお使いいただくために」をお読みください。

切れる素材	切れない素材
厚さ目安／35mmまで ●ベニヤ板　●竹 ●合板　●プラスチック類（硬いもの）	●プラスチック類（ゴム状の柔らかいもの） ※きれいに切れません ●ゴム ※きれいに切れません ●タイヤ ※厚みがあり、切断できません ●チタンなどを用いた超硬合金 ●セラミック ●ガラス ●布、ワイヤー、ロープ類 ※ブレードにからまり危険 ●畳 ※厚みがあり、切断できません
厚さ目安／6mmまで ●アルミニウム　●銅 ●スチール　●真ちゅう ●金　●鉛 ●銀　●ステンレス ●ジュラルミン	

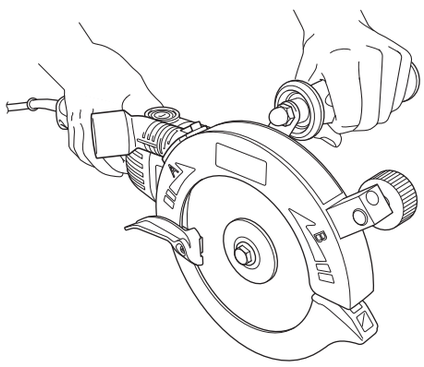
1 切断する材料をクランプや万力等でしっかり固定します。



2 電源プラグをコンセントに差し込みます。

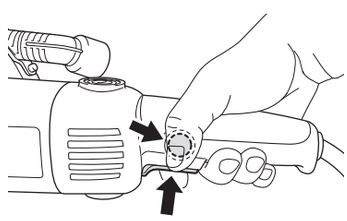


3 グリップを左手で持ち、
右手で本体の胴体を図のように持ちます。



4 切断する材料に本体を近づけます。

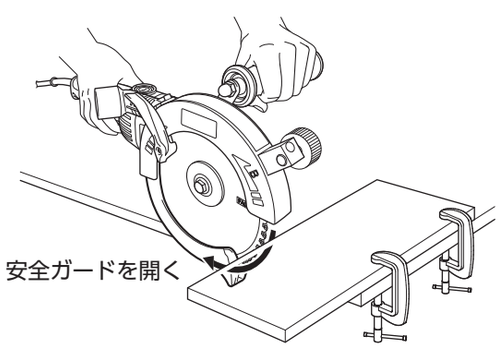
5 親指でセーフティスイッチを押したまま、
人差し指でトリガーを引いて
ブレードを回転させます。



セーフティスイッチを
押したままトリガーを引く

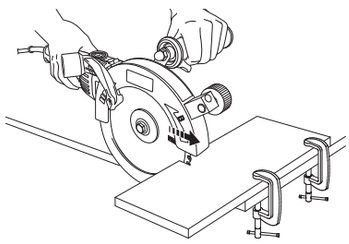
6 安全ガードの先端を材料にゆっくり
押し当てて、安全ガードを開かせます。

⚠ 警告	**安全ガードを外したり、開いたまま固定したりしない。** 事故やケガの原因になります。



安全ガードを開く

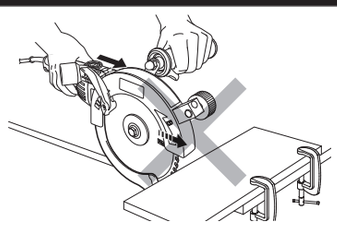
7 安全ガードが開いたら回転するブレードを
ゆっくり材料に押し当て、切断を開始します。
そのままゆっくり前方に進め、
切り終わるまでこの状態を保つようにしてください。



使用方法について

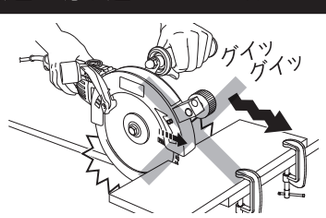
① スイッチはブレードを材料に接触させた状態でONにしないでください。
モーターに負荷がかかり発煙や故障の原因になります。

接触させてONしない。



② ブレードを材料に強く押し付けたり、無理に切り進めようとしないでください。
材料に強く押し付けると、モーターに無理な力がかかってブレードの回転数が落ち、発煙や故障の原因になります。

無理に切り進めないでください。



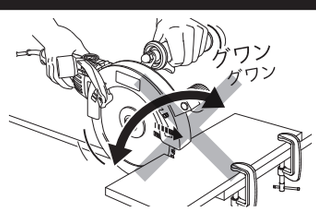
切断する速度は、下記を目安としてください。

木材(厚さ15mm)：
長さ10cmを10秒くらいの目安で切る。

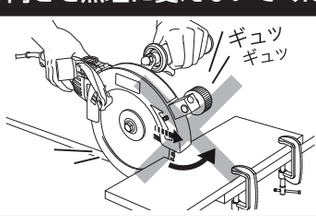
鉄板(厚さ 2mm)：
長さ10cmを20秒くらいの目安で切る。

③ 切断中に本体を左右にねじったり、曲線に切ろうとして本体の向きを無理に変えたりしないでください。切断中に角度や方向を変えるとモーターに無理な力がかかってブレードの回転数が落ち、発煙や故障の原因になります。

左右にねじらないでください。



本体の向きを無理に変えないでください。



④ 切断中にブレードの回転が遅くなったり止まってしまう場合は、一旦本体を材料から外し、少しずつ時間をかけてゆっくり切断するようにしてください。

⑤ 使用中に本体が異常に熱くなった場合は、一旦本体を材料から外して十分な冷却時間をとってください。

8 切断を終えたらブレードを材料から外し、
すぐにトリガーから指を離して、ブレードの回転を止めます。

※ 材料からブレードを離すと安全ガードは自動で閉じます。

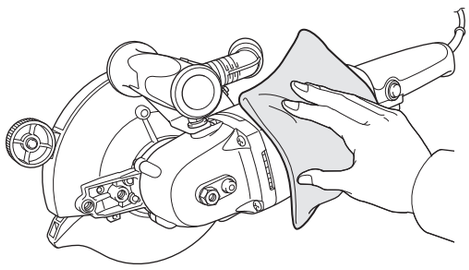
お手入れ方法

お手入れ前に電源プラグがコンセントから外れていることを確認します。

⚠注意 **硬いブラシはキズが付くため使用しない。**

胴体・グリップ（樹脂部）のお手入れ

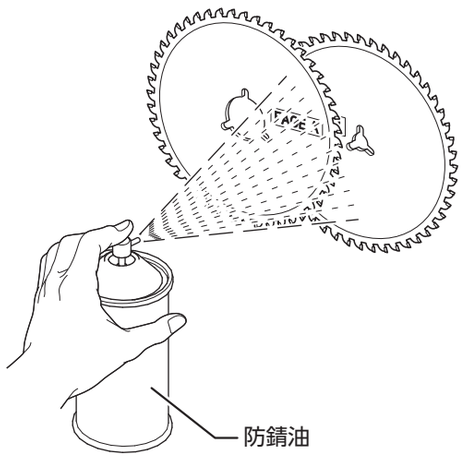
柔らかな布で空拭きをします。
しつこい汚れやグリース、油等が付着した場合は、
柔らかい布に水を含ませ、
固く絞ってから汚れをふき取ります。



⚠注意 **樹脂部にはシンナー、ベンジン等の溶剤を使用しない。**

ブレードのお手入れ

切りくずやホコリは、ブラシ等で取り除き、
ヤニや油などは拭き取ってください。
保管するときは防錆油を塗布します。

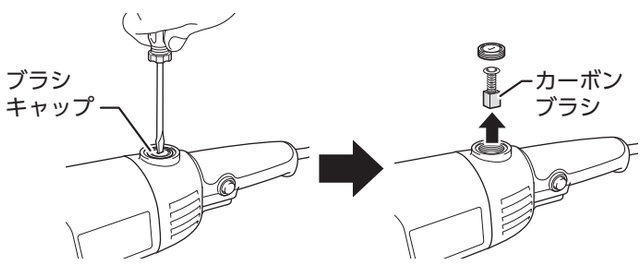


カーボンブラシを点検・交換する

本製品は、お客様自身でカーボンブラシの交換ができます。
目安としては購入後、1年ごとに点検してください。

1 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認します。

2 マイナスドライバーを使って
ブラシキャップを外し、
中からカーボンブラシを
取り出します。

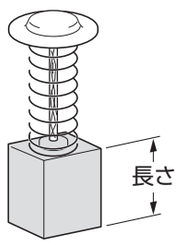


お手入れ方法

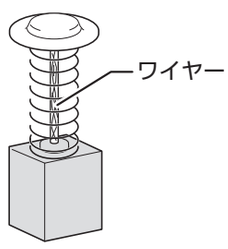
3 カーボンブラシの長さを測ります。

使用限度値：3mm

3mm以下の場合は交換してください。
交換する際、２個とも同時に交換してください。



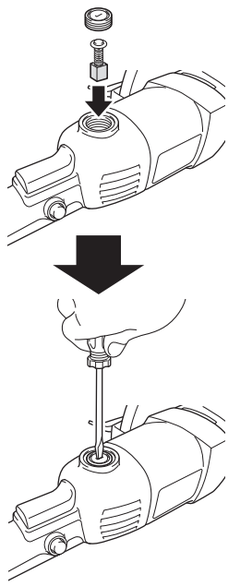
4 スプリング内を通っているワイヤーが切れていないか確認します。
切れている場合は交換してください。



5 反対側のカーボンブラシも同じように点検します。

6 カーボンブラシを取り付け穴に差し込み、ブラシキャップを取り付けます。

7 マイナスドライバーを使ってブラシキャップを締め付けます。



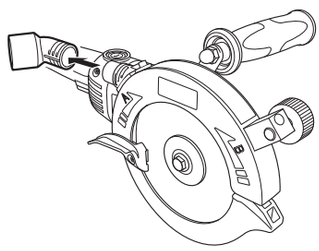
8 反対側のカーボンブラシも同じように取り付けます。

保管する

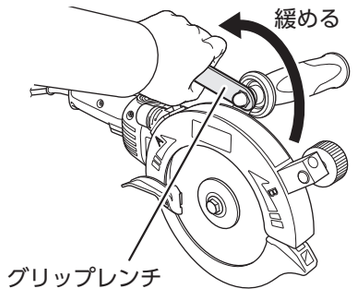
ケースに収納する

保管する場合、ケースに収納することをおすすめします。

1 バキュームパイプを外します。

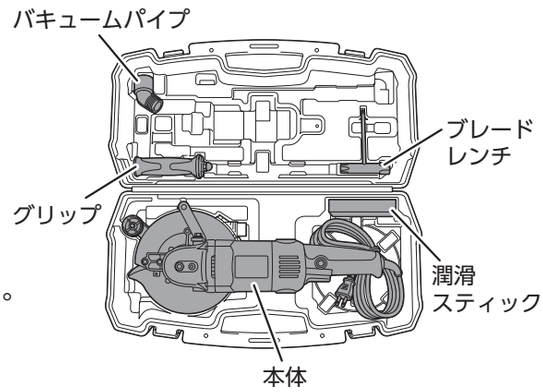


2 グリップレンチを使ってナットとグリップを外します。
外したナットをなくさないようにグリップに取り付けておきます。



3 ケースに本体とグリップ、バキュームパイプ、潤滑スティック、ブレードレンチ、最後に取扱説明書(本書)とグリップレンチを収納して閉じます。

※ グリップレンチは取扱説明書と一緒にビニール袋に入れ、ケースに収納してください。



安定した場所に保管する

本製品を保管する場合、小さいお子様の手が届かず、通行の邪魔にならない安定した場所に置いてください。

⚠注意	**本製品は、次のような場所には設置・保管しない。** 感電、火災、故障の原因になります。 • 極端に高温、低温になる場所 • 暖房器具などの熱源や火気の近く • 浴室内など水のかかりやすい、または多湿の場所 • ホコリが多い場所 • 野外、直射日光の当たる場所 • 有害物質の近く • 滑りやすいものの近く(グリース、油、雪、未乾燥の塗料など)

仕様

本体寸法	長さ 約450×幅 約200×高さ 約200mm
本体重量	4.0kg
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	1400W
電源コード長さ	約2.5m
無負荷時回転数	4200RPM
ブレード寸法	ブレードA, B：各外径160mm
最大切込み深さ	約45mm

こんなときには(トラブルと対処方法)

不具合	原 因	対処法
トリガーが引けない (ロックしている)	セーフティスイッチを 押していない。	セーフティスイッチを押した ままトリガーを引きます。
ブレードが 回転しない	電源プラグがコンセントに 差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに 差し込みます。
	コンセントに電気が来ていない。	ブレーカー等を点検します。
ブレードの 回転が遅い	切断する材料がブレードに 適していない(厚すぎる)。	切断する材料の厚さは 最大35mmが目安です。
	タコ足配線等により、 電圧が低下している。	定格電圧に合ったコンセントを 単独で使用する。
	切断中に本体を左右にねじったり、 強く押し過ぎている。	ゆっくり切り進めてください。
ブレードの回転に ムラがある	カーボンブラシが すり減っている。	カーボンブラシを交換する (27ページ)。
ブレードが 振動する	ブレードが1枚しか 付いていない。	ブレードAとブレードBの 2枚を取り付ける(18ページ)。
	ブレードロックボルトが ゆるんでいる。	ブレードレンチを使って ブレードロックボルトを しっかり締め付ける。
	ブレードの刃が 損傷している。	ブレードを交換する (18ページ)。
切断できない、 または切断しにくい	ブレードの表と裏が 逆になっている。	ブレードを取り付け直す (18ページ)。
	ブレードの刃が損傷している、 または摩耗している。	ブレードを交換する (18ページ)。
異常に 大きな火花が飛ぶ	ブレードの刃が損傷している、 または摩耗している。	ブレードを交換する (18ページ)。
切断面が割れたり、 荒くギザギザに なっている	切断中に本体を左右にねじったり、 強く押し過ぎている。	ゆっくり切り進めてください。
ブレードが破損する 本体が異常に熱くなる	ブレードの刃が損傷している、 または摩耗している。	ブレードを交換する (18ページ)。

Q&A

Q **炭化タングステンの素材は刃のどの部分にあたりますか？**

A ブレードの周囲にある、小さな刃(チップ)の部分に炭化タングステンが使用されています。

Q **2枚刃ですが、切り口(切りしろ)の厚み(幅)はどのくらいありますか？**

A 切り口の厚み(切りしろ)は4mm程度です。

Q **カーボンブラシの(モーターを回すための部品)の替えはありますか？**

A 交換用カーボンブラシをご用意しております。お客様ご自身で交換ができます。(27ページ参照)

※ 交換作業を依頼する場合、お求めの販売店または裏表紙のカスタマーサービスセンターにて受け付けています。(有償)

Q **集じん機はどれでもデュアルソー デストロイヤー CS650に取り付け可能ですか？**

A 集じんできる材質や吸い込み力によっては、使用できない集じん機もあります。
集じん機の取扱説明書も併せてご確認ください。
(デュアルソー デストロイヤー CS650の接続パイプは外径34mmです。)

Q **車のバッテリーにつないで使用できますか？ 発電機は？**

A 車のバッテリーでは使用できません。
また、発電機の場合は15A(アンペア)以上の正弦波出力のものを単独で使用すれば使えます。

Q **推奨している1回あたりの使用時間などありますか？ 連続使用可能時間は？**

A 切断する材料の種類やサイズによって変わりますので、使用時間は一概にお答え致しかねます。
ブレードを材料に強く押し付けたり、無理に早く切り進めようとすると、
モーターが過熱して故障の原因となりますので、切断中にブレードの回転が停止したり、
遅くなったりしないように、押す力を加減してご使用ください。
本体が熱くなった場合は、次の使用までに十分な冷却時間をとってください。

Q **潤滑スティック1本でどのくらいのものを切ることができますか？**
潤滑スティック１本は、何分くらいで消費されてしまいますか？

A 切断する材料や長さにもよりますが、目安として２～３回カットする毎にダイヤルを回して潤滑スティックを進めた場合、スティック１本で50回程度のカットに使用できます。

Q **潤滑スティックは必ず使用しなければいけませんか？**
市販のものでも代用できますか？

A 金属を切る際は使用してください。ブレードが傷んでしまいます。
市販のものは使用できません。

Q **刃を砥ぐことはできますか？**
業者に持ち込んで刃を砥いでもらうことは可能なのでしょうか？

A 特殊な形状につき、砥ぐことはできません。

Q **ガイドルーラー使用時の切断の幅は何センチですか？**

A 切断幅の設定は１～12cmです。

Q **ガイドルーラーの素材は何ですか？**

A スチール製です。

Q **ガイドルーラー使用時の切断幅は？**

A ガイドルーラーの目盛の寸法は、材料の端から２枚のブレードの間の距離となります。
切断した材料の寸法は、ブレードの切りしろの分（２mm程度）が短くなりますので、ご注意ください。

関連商品

• ガイドルーラー

ガイドルーラーを取り付けると、お好みの幅で
切断ができます。
切り筋が真っすぐになり、正確に切ることができます。
(取り付けは36ページ参照)

• ブレード(替刃)

標準装備のブレードの替刃です。

先端が非常に硬い素材である
炭化タングステンの刃(チップと呼びます)が
付いています。

切れる素材	切れない素材
厚さ目安／35mmまで ●ベニヤ板　●竹 ●合板　●プラスチック類(硬いもの)	●プラスチック類(ゴム状の柔らかいもの) ※きれいに切れません ●ゴム ※きれいに切れません ●タイヤ ※厚みがあり、切断できません ●チタンなどを用いた超硬合金 ●セラミック ●ガラス ●布、ワイヤー、ロープ類 ※ブレードにからまり危険 ●畳 ※厚みがあり、切断できません
厚さ目安／6mmまで ●アルミニウム　●銅 ●スチール　●真ちゅう ●金　●鉛 ●銀　●ステンレス ●ジュラルミン	

• ダイヤモンドブレード

刃の周辺部分にダイヤモンド粒子を使った
ブレードです。
※負荷がかかりやすいので、
　様子を見ながら少しずつ切ってください。

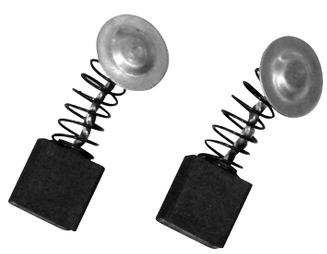
切れる素材	切れない素材
●石材(御影石、大理石、溶岩石) ●タイル ●レンガ ●コンクリート ●モルタル	●ガラス

• 潤滑スティック(25本入り)

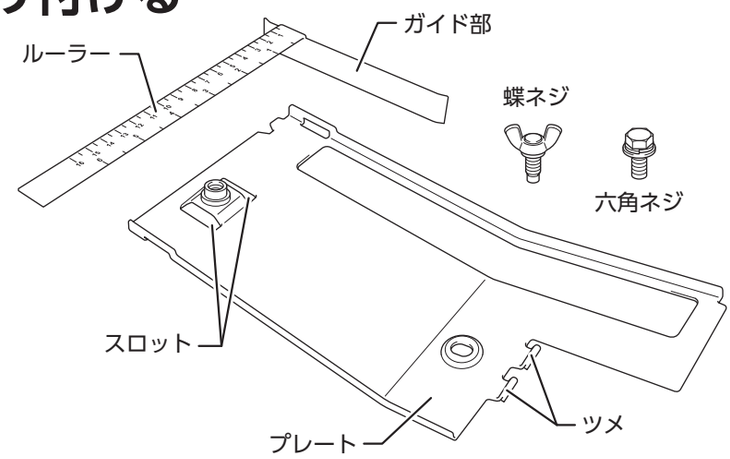
金属のように硬質な材料を切断する場合、
ブレードや材料を保護するために潤滑スティックは必需品です。
残り少なくなったら、便利な25本入りをご利用ください。

• カーボンブラシ(2個入り)

モーターを回転させる重要な部品です。
定期的に点検して交換してください。(27ページ参照)

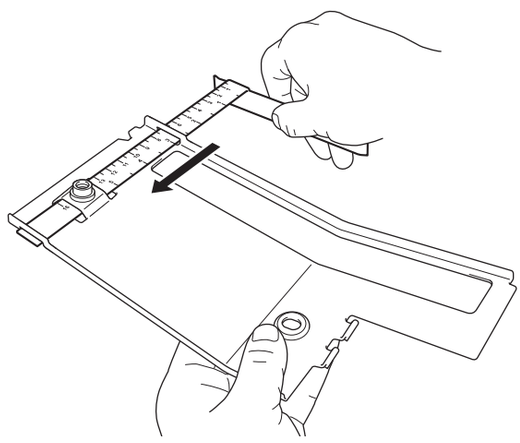


ガイドルーラーを取り付ける

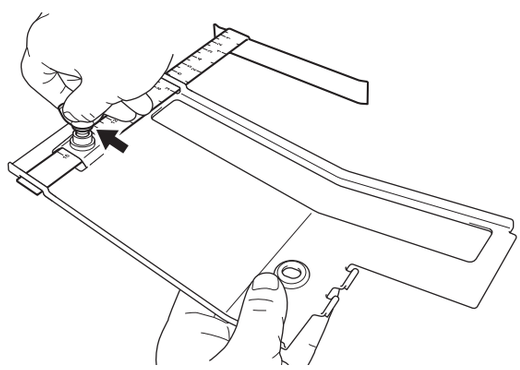


1 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認します。

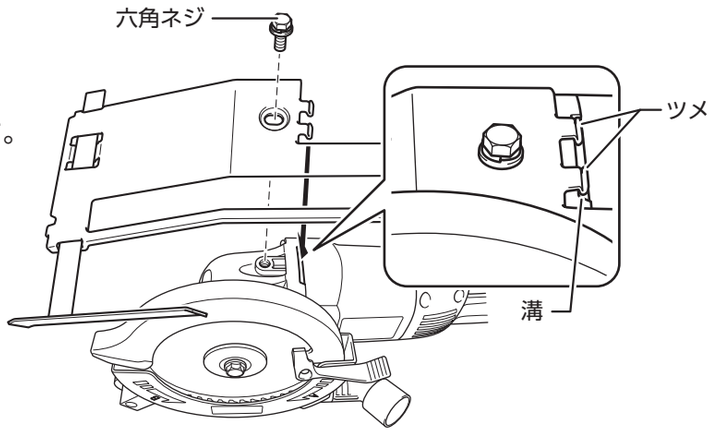
2 プレートのスロットにルーラーを差し込みます。



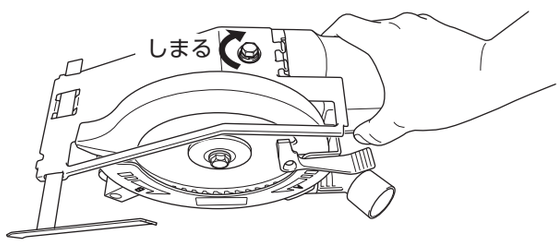
3 蝶ネジを取り付けてルーラーを軽く固定します。



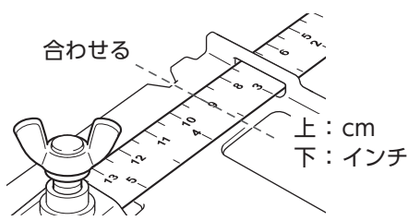
4 本体を裏返し、プレートのツメを
本体の溝に入れ、プレートの穴と
本体のネジ穴の位置を合わせます。



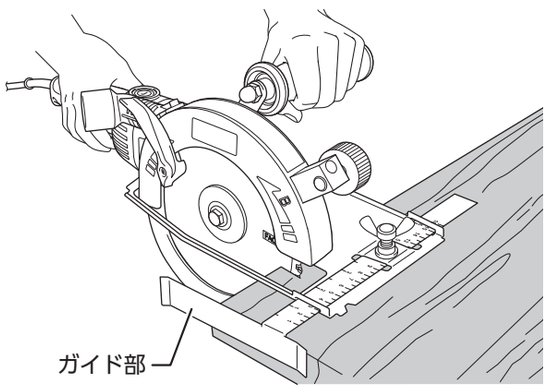
5 六角ネジを取り付け、
ブレードレンチを使って締め付けます。



6 切断したい幅にルーラーをセットして
蝶ネジを締めて固定します。



7 切断する際は、ルーラーのガイド部を
材料の側面に当てながら切断します。



ダイヤモンドブレードによる切断方法

⚠警告 **2〜9ページの「安全にお使いいただくために」をお読みください。**

1 ブレードをダイヤモンドブレードに交換します（18ページ参照）。

2 切断方法は24、25ページをご覧ください。

3 切断している材料の様子を見ながら、少しずつ切断していきます。

⚠注意 **ブレードを必要以上に強く材料に押し付けない。**
大きな破片が飛んだり、材料が割れたりします。

4 切断したらブレードを材料から外し、すぐにトリガーから指を離して、ブレードの回転を止めます。

※ 材料からブレードを離すと安全ガードは自動で閉じます。

保守とアフターサービス

保 証 書

この度は当社商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この保証書は、保証期間中に故障が発生しました場合には、下記の無料修理規定にしたがって無料修理を行うことをお約束するものです。
この製品が、万一保証期間内に故障しました場合は、**ショップジャパン カスタマーサービスセンター**にご連絡願います。
保証期間内に限り無料にて修理をさせていただきます。(ご返送の際に発生する送料はお客様のご負担となります。)

※修理をご希望される場合、本書とデュアルソー デストロイヤー **CS650** のお買い上げ証明(お買い上げ明細書、レシート、領収書など)の提示が必要となりますので、保証書とお買い上げ証明を大切に保管してください。

【品名:デュアルソー デストロイヤー CS650】

お客様ご氏名: 様

ご購入日: 年 月 日

保証期間: ご購入日より **1年間**

お客様ご住所: 〒

お客様電話番号(購入時):

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な点がありましたら下記の当社カスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

無 料 修 理 規 定

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で故障した場合は保証期間内に限り無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ) 本書の提示がない場合。
   (ロ) お買い上げ明細書がない場合および本書の字句を書替えられた場合。
   (ハ) 使用上の誤り、または不当な修理・改造による故障および損傷。
   (ニ) お引渡し後の輸送・落下・水ぬれ等による故障および損傷。
   (ホ) 火災・公害・異常電圧および地震・落雷・風水害・その他の天変地異による故障および損傷。
   (ヘ) 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障および損傷。
   (ト) 故障の原因が本機以外にある場合。
   (チ) 付属品等の消耗品の交換。
   (リ) 車輌船舶などに搭載されて生じた故障および損傷。
   (ヌ) 取扱説明書に記載された「安全のご注意」を守られない場合の故障。
3. 直接修理窓口へ送付した場合の送料等や出張修理を行った場合の出張料等は、お客様の負担となります。
4. 消耗品は保証対象外となります。
5. 本製品の故障に起因する付随的損害については責任を負いかねます。
6. 保証に関して不明の点がありましたら、当社カスタマーサービスセンターにお問い合わせください。
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。
8. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

アフターサービス

1. 保証期間経過後の修理については、ご希望により有料で承ります。
2. 当社は、補修用性能部品を製造打ち切り後 6 年保有しています。
   注) 補修用性能部品とは、その製品を保持するために必要な部品です。

DUALSAW®

デュアルソー デストロイヤー CS650

お問い合わせ　24時間・365日受付

ショップジャパン カスタマーサービスセンター

☎ 0120-096-013

FAX 0120-700-037　E-MAIL info@shopjapan.co.jp

Shop Japan®

《輸入/販売元》 ショップジャパン　shopjapan.co.jp

株式会社 オークローンマーケティング

〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル14F

正規輸入販売元　ショップジャパンはデュアルソーシリーズの正規輸入販売元です。

管理番号:D650260707T1-01